

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

**組合員討議資料・アンケートをお配りします。**

**暮らしを**

**自分たちの手に取り戻す 1 年に！**

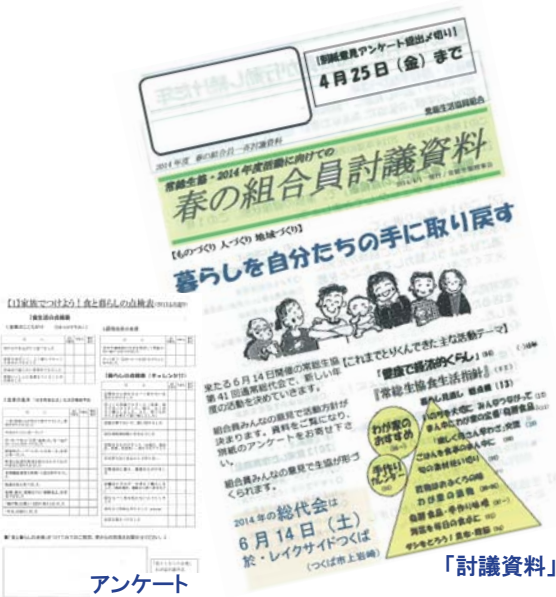
おかげさまで常総生協は来年 40 周年を迎えます。この 40 年の間で、私たちの暮らしも大きく変わりました。

得たものもあれば、失ったものもあります。

節目を迎える 2014 年。

暮らしを他人任せにしない、他方で繋がりあえる地域社会を如何にして形作れるのか。

組合員、生産者、職員みんなで考える年にしたいと思います。



↑「春の組合員討議資料」と「組合員意見アンケート」は今週同時に配布しています。3 ページに書き方をご案内していますのでご参照ください。

常総生協の今後 10 年を形作るスタートのアンケート、ぜひ組合員みなさんのご意見をお寄せ下さい。

**【4 月の予定】** ※ 3/27 現在の予定です。

●地域での活動・催し	●基幹運営・対外関係
4/7 月～9 水 10 時～ 「常総しょうゆ」の ラベル貼り応援作業 (本部)	4/5 日 (土) 10 時～12 時 <b>総代懇談会</b> (本部)
4/9 (水) 10 時～14 時 脱原発と 暮らし見直し委員会 (本部) ※同日 PM1 時～3 時 (DVD 上映会) 「放射性物質・終わらない悪夢」	4/15 火～ <b>「春の地区懇談会」</b> が 11 地区でスタートします。 ※詳しくは 3/27～4/2 で配布しています「お知らせ」をご覧ください。
催し情報は、常総生協のホームページもご覧ください。	

**「常総醤油」のラベル貼りボランティアさん募集！**

～今年も美味しいお醤油できました～

毎年「ラベル貼り」を理事と職員で行っていましたが、今年はずいぶん組合員さんと一緒に楽しく貼りたいと思います。

**現在、参加者が少なく大ピンチ！**

参加可能な方は下記「参加できる日」を注文書「意見欄」にご記入下さい。時間は 10 時～。

**【4/7 月、4/8 火、4/9 水】**

★参加者には常総醤油 1 本プレゼント。

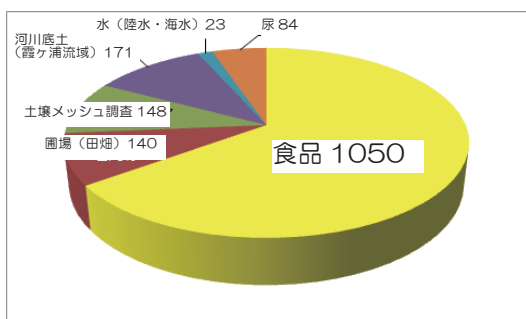
★お子さん連れでも大丈夫です。

## 検査対象を絞り、1Bq 以下を検出限界として調査します

### ■ 2013 年度の検査結果 (速報)

・2013 年度末が間近ですが、現状までの放射能検査の検査数は以下の通りです。

放射能検査数 (分類別)		2013.04.01～2014.03.21	
大分類	中分類	検査数	検査機
食	食品	1,050	Ge
環境	生産ほ場(田畑)土壌	140	NaI
	地域土壌メッシュ調査	148	NaI
	河川底土(霞ヶ浦流域)	171	NaI
	水(陸水・海水)	23	Ge
生体	尿	84	Ge
(合計)		1,616	



3/21 現在、合計 1616 検体の放射能検査を実施。うち、1050 件 (65%) は食品。※詳細は、2014 年度「議案書」にて報告する予定です。

### ■ 2014 年度の食品検査は、検査対象を絞って 1Bq 以下を検出限界として実施。

・原発事故から 3 年が過ぎ、食品の放射能検査においても半減期が 2 年のセシウム 134 は、5Bq 以下の検出限界では滅多に検出されなくなりました。半減期 30 年のセシウム 137 も 5Bq 以下不検出となる食品 (生鮮、加工) が多くなりました。  
 ・引き続き、食事の中でも一番量を多く食べる米や大豆などの主要な食品については 1Bq 以下の検査とし、その他の品目も順次検査対象品目を絞り 1Bq 検査体制に移行します。

### ■ ストロンチウムについても検査対象を絞って実施します (食品)。

・セシウムだけでなく、骨に蓄積されるといわれるストロンチウムについてもポイントを絞って検査します。  
 ・ストロンチウムを測る機械はとても高価なため、外部検査 (横浜同位体研究所、山形理研) に出す方針です。  
 ・品目としては、煮干しなど骨ごと食べる魚、海藻類などを検討しています。

### 【圃場の土壌調査は 4 年目に】

## 今年も土からしっかり調べてお届けします。

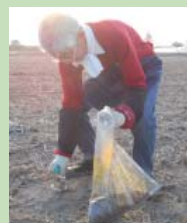
震災初年度から生産者の協力も得ながら実施している、圃場 (畑、田んぼ) の土壌検査。今年で 4 年目の実施となります。

初期の汚染評価は大変重要な作業で、この数値データがあれば、経年で核種別にどのような変化があるか、ある程度の見通しを立てることができます。

また、毎年の実地調査で、線量が減少したところ、変わらないところ、逆に高くなったところなどがわかります。今後は、地形や水流の状況などの情報と合わせて評価したいと思います。

「めぐみちゃん」(コシヒカリ) の田んぼ 46 枚分の土を調査中です。

(2014/3/25 実施)



田の土は水を張る前に毎年検査します。



水分を記録した後専用容器に入れて測定。  
 ※検査結果はまとまり次第報告します。





## シリーズ【東海第二原発再稼働させないで！】(2)

# 日本一人口密集地に立つ東海第二原発

5km 圏内に東海村民3万8千人が暮らし、30km 圏内に 100 万人、そして東京都心までわずか 116km

先週は「東海第二原発ってどこにあるの?」と題して、茨城県の東海村から関東平野一円を包み込む円周を見て頂きました。

今週は近くに寄って見てみます。

下の写真は、2014年3月5日付の東京新聞に載った東海村役場から見る東海第二原発です。



東海村民3万8千人が暮らす町並みのすぐ向こうに東海第二原発が見えます。

右の写真は海側から東海村の住宅街を撮った写真です。手前が東海第二原発です（同東京新聞）。

そしてここからわずか 17km 先には茨城県の県庁所在地の水戸市に26万人が住み、30km 圏内には94万人と、日本でいちばん人口密度の

高い場所に東海第二原発が存在しています。

30km圏内人口密度は福島第一原発の2倍です。

下の写真は海岸から見た東海第二原発です。

3年前の3月11日、この東海第二原発にも地震でタービンが壊れ緊急停止。その後津波が襲い、非常用ディーゼル発電機3台のうち1台が停止。震源がもしもう少し南であったなら、福島第一でなく、この東海第二原発が爆発していてもおかしくなかったでしょう。

